

# 直虎の里 Ver2.0

静岡県浜松市北区細江町 引佐町

令和4年1月1日~9月30日

浜松いつでもロゲイニング

全62ポイント 合計3000点満点



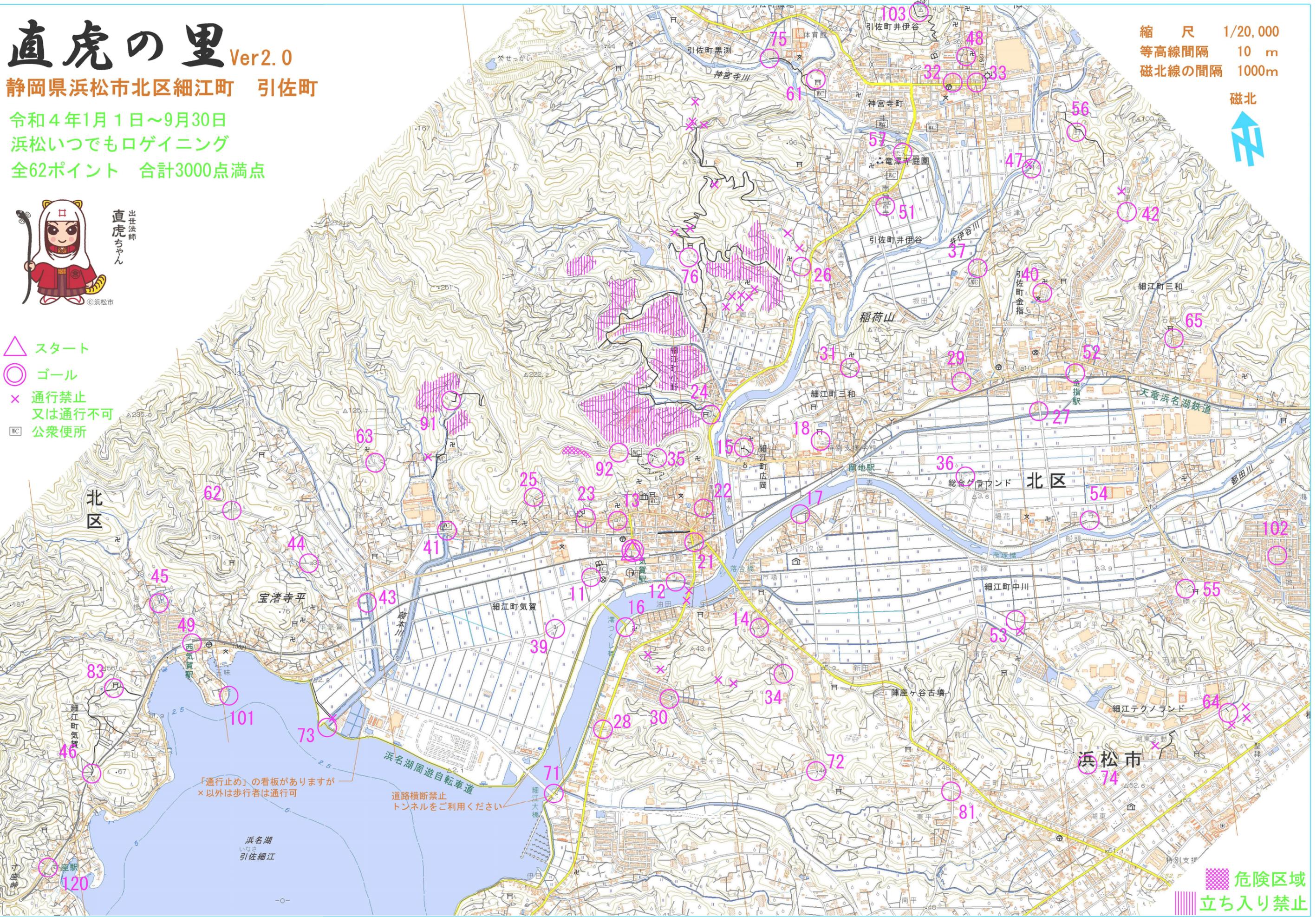
出せ法師  
直虎ちゃん

©浜松市

縮尺 1/20,000  
等高線間隔 10 m  
磁北線の間隔 1000m



- △ スタート
- ゴール
- × 通行禁止  
又は通行不可
- WC 公衆便所



「通行止め」の看板がありますが  
×以外は歩行者は通行可

道路横断禁止  
トンネルをご利用ください

危険区域  
立ち入り禁止

浜松いつでもロゲイニング ポイント位置説明 令和5年1月1日～9月30日 浜松市北区細江町 引佐町

11 田園空間博物館看板	17 川久保の祠	25 気賀近藤家墓所	31 普門院	37 引佐観光看板	44 山田一里塚案内看板	51 井伊共保の井戸	57 井伊谷宮	71 細江大橋欄干	83 三社神社
奥浜名湖地区は、浜名湖に注ぐ川の恵みを利用して農業が営まれ、豊かな実りと共に、文化や景観などの農村資源が築かれてきた。この地域を丸ごと屋根のない博物館(田園空間博物館)として、豊かな農村資源を体験することができる。	川久保地区は都田川によって運ばれた土砂で出来た自然堤防と呼ばれる小高い土地にあります。弥生時代から中世まで多くの人々が都田川の恵みと共に暮らした跡が発掘されています。	気賀近藤家は代々の初山宝林寺に葬られてきたが、分骨した代々の領主の墓が、気賀の領地を見下ろすこの場所に祀られた。	このお寺の西側の台地は今城と呼ばれ、井伊谷三人衆の鈴木家の居城があった。気賀と井伊谷を結ぶ街道をひと目で見渡す事が出来る戦略上重要な土地であった。	引佐町の入口にある観光看板	江戸から69番目で姫街道2番目の山田一里塚跡碑	井戸の横に捨てられていた赤子が浜名湖の志津城の城主藤原共資の養子となり共保を名乗った。のちにこの地に井伊家を興した。	井伊谷村の田畑に水を引くため江戸時代にこの辺りに堰を作った。早稲の時に下流の神宮寺村の堰に水がなくなると争いになったが、井伊谷近藤家の殿様が仲裁した記録が残っている。	旧細江町と市街の混雑解消と浜名湖周辺の短縮路として長さ200mで平成17年3月に開通した。欄干の石に姫街道中の絵が彫られている。	かつては、字ごとに祀られていた3つの神社(向山鎮座の熊野神社、岩根鎮座の大峰神社、五味鎮座の熊野神社)を、昭和26年3月、合祀し、三社神社と社名を改めた。
12 細江のへそ	18 延喜式内社平豆神社	26 正泉寺石碑	32 すぎや製菓	39 堀川城跡	45 薬師堂	52 天浜線金指駅	61 天白磐座遺跡	72 老ヶ谷秋葉山常夜燈	91 旧長楽寺本堂跡
都田川の堤防にある「細江のへそ」の碑。どのような理由でここが「細江のへそ」なのかの説明はない。堤防は桜並木の遊歩道となっている。	延喜式の中の「神名帳」に名前がある由緒・格式を誇る神社。江戸時代幕府から十五石を寄進されていたとされる。平豆(おず)とは「豆を呼ぶ」という意味で子孫繁栄と五穀豊稔の神様である。	1554年開創山号は龍谷山。曹洞宗可睡齋の末寺で、開山は慧湛和尚	70年以上続く和洋菓子店のすぎやです。「いいさま」「みそまん」を始め、季節折々の美味しいお菓子をすべて皆様に喜んで頂いております。ぜひお立ち寄り下さいませ。	桶狭間の戦いの後、徳川家康が遠江に侵襲した時、ここに気賀の村人が籠城した。激しい戦いの末、気賀の村人の半数以上が殺害された。家康もよほど腹に据えかねたのでしようか?	姫街道沿いに建てられた薬師堂。創建は不明だが江戸後期の1835年に再建された記録がある。姫街道の旅人はここに泊まることも出来たのでしようか?	天竜浜名湖鉄道の駅の一つで木造の駅舎。プラットホームや高架貯水槽は国の有形文化財となっている。	自然の造形とは思えないほど、見事にバランスのとれた配置で散在する石群は、巨石を神の拠り所(磐座)とした古代の祭祀場の遺跡	灯籠に刻まれた記録には1811年に地元の人たちによって建てられたことが分かる。秋葉山は火防の信仰を集め、参詣の道を秋葉道と呼び地域の人々には常夜灯を村々の辻に建てた。	長楽寺は平安時代に弘法大師空海が建立したとされる。本堂は昭和50年に解体されたが本堂跡へは梅林の古道がつつく
13 本陣前公園	21 お菓子のとやま	27 いなさ牛乳	33 内山製菓	40 実相寺山門	46 NTT細江寸座無線局	53 岡の平遺跡	62 マンサクの里	73 里村紹巳の句碑	92 国民宿舎奥浜名湖
江戸時代本陣を務めた中村家の前にある公園 お姫様の像がある	気賀にある「みそまん」を製造販売する和菓子屋さん。ロゲの掃りにぜひ寄ってみてください!「生クリームどら焼き」も美味しかったです。	地元で育てている牛から絞った「いなさ牛乳」は、新鮮でコクがあり、甘みさっぱりとした味わい。引佐細江の学校給食と言えいなさ牛乳です。	いなさ名物の『みそまん』(こしあん、つぶあん)を始め、大河ドラマから名付けた蒸しどら焼き『いい!直虎』3種類、新発売の『焼きみそまん』を製造販売しています。	1387年開創。引佐三十三観音一番坊所。1678年再建の本堂や鐘楼門など、古い建物が多く見られる。県指定名勝でもある築山式枯山水庭園の美しさは必見。	小高いところに有るNTTの無線局。振り返ると素晴らしい奥浜名湖の景色が見られます。無線局は耕作地の中になるので道路から撮影してくださいませ。	低い河岸段丘の上にある弥生時代の遺跡。南の谷から出土した銅鐻はここに住んだ人々が埋めたと思われる。	宝渚寺付近には市指定の天然記念物のマンサクがあるが、環境の変化で減少・絶滅の危機となったため、この地に移植し繁殖させ維持管理している	里村紹巳は戦国時代の連歌師。富士を見たかと思ふ旅立ち、掃りにこの地に立ち寄り山村未里の求めに応じて連歌の会を開催したとされる。	高台にありお風呂やお部屋からの景色は格別です。宿泊の際は夜景と日の出を見るのをお忘れなく。ロゲの後は日帰り入浴(大人520円)でサッパリしてはどうでしょうか?
14 宗安寺案内板	22 外山本店	28 目通り八町の案内板	34 老ヶ谷の一里塚案内板	41 呉石学校跡碑	47 セメント運搬線鉄橋	54 井伊直親の墓	63 金地院山門	74 二宮神社の金次郎像	101 プリンズ岬
江戸時代この少し上の場所に宗安寺があった。桶狭間の戦いで今川義元を打ち取った徳川家康が宗安寺に参詣していた。	「みそまん」ももちろん美味しいのですが、「姫様スティック」も美味しかったです。しっとりとしたスポンジ生地と新鮮ないちごジャム、サクサクとしたアーモンドの組み合わせ絶品です!	1569年、堀川城を攻めた徳川家康は一人の様子を見に行った時に敵に見つかってしまつた。その時かまて家康を助けた老婆は褒美に目通り八町の土地を買った	江戸から68里目の一里塚があったところ。その昔は茶屋もあったと伝えられている。北に下る坂道は長坂と呼ばれ今も街道の面影を残す。	「くれない」とは「くれてやるほど石が出る」の意味のこと。呉石田園公園に立つ呉石学校跡の碑	佐久間ダムと秋葉ダムは高度経済成長期に必要な電力を確保する為に建造されました。そこで使われたセメントの80%は井伊谷で作られ、この橋を通る鉄道によって運ばれました。	直虎の許嫁だった井伊直親の墓。永禄5年(1562年)に小野但馬守の誘言により謀反の疑いをかけられ、その弁明に向かう道中、今川の家臣の襲撃にあい殺された	金指近藤家はそれまで農業を主とした集落であった金指を閩所の町として発展させ、現在の基礎を作った。	二宮尊徳翁(通称金次郎)をまつる神社。大正7年この地を開拓した者たちが氏神社として建立した。境内には二宮金次郎の像が立てられている。	上皇陛下が皇太子(プリンス)時代に家族で静養された事からプリンス岬と呼ばれるようになった。天皇陛下が子供時代にソフトボールをした時のユニフォームが近くの小学校に残っている
15 長徳禅寺山門	23 かじや菓子店	29 金指近藤家陣屋	35 細江公園展望台	42 金指農村公園	48 井伊氏居館跡案内板	55 蜂前神社	64 銅鐻公園	75 軽便鉄道橋	102 陣内平古墳公園
この寺は地蔵菩薩を本尊として天正年間(1573-1582)に建てられた。元禄12年(1699年)には脇侍千体の地蔵が完成し、人々の信仰を集めてきた。	気賀にある「みそまん」を製造販売する和菓子屋さん。春は桜餅・柏餅、秋は浜松産の栗を使った栗蒸し羊羹も好評。上棟式用の投げ餅のご注文も承ります。	河岸段丘の上につくられた陣屋。江戸時代に金指一帯を納めていた近藤家の殿様が住んでいた。	三方ヶ原の戦いで勝った武田信玄がこの地域で年を越した際に埋蔵金を埋めたとの伝承が残っています。今でもこの公園のどこかに金塊が眠っているかも?	農村地域のコミュニティ活動を通して活力ある地域づくりを促すため浜松市が設置している農村公園の一つ	井伊氏の居館がこの地にあったとされている。江戸末期には土壘や堀などの遺構があったようだが、今では宅地化が進み南西隅に堀の跡がわずかに残る	西暦二十八年八月毛止恵という人が勤命によって遠江国へ下向して、合計百二十三町歩余りを開墾して本社を蜂前神社とした。直虎直筆の書判(花押)を所蔵	浜松市北区細江町は、これまでに弥生時代の銅鐻9基が見つかっている	橋桁の鉄骨に「株式会社東京石川島造船所製造大正12年」と書かれている。レンガつくりの橋脚が歴史を感じさせます。今年で98才まだまだ現役です。	6基の古墳があったことが知られ陣内平古墳群と呼ばれている。人物地輪が見つかっているが宅地造成のためすべて取り壊された。今あるものは復元。
16 河合象子歌碑	24 光月神案内板	30 油田東児童遊園	36 細江総合運動公園	43 吾跡川柳万葉歌碑	49 天浜線西気賀駅	56 馬場平古墳	65 岩亭句碑	76 八幡宮の鳥居	103 井伊谷城跡
河合象子は三河出身の明治時代の歌人。東京で正岡子規などと活躍した。晩年気賀で明治42年に没した。墓は気賀の正明寺にある。	その昔、小野の光月様と呼ばれ歯の神様として慕われてきた	油田団地の中央付近にある児童遊園地。地元の子供たちの良き遊び場となっている。	細江総合運動公園の中にあるアスレチック遊具	万葉集に、遠江の国跡川のほとりに生える柳が、刈られても刈られてもまた生え出すという意味の歌が歌われている。この地がその柳のあったところとされている	昭和13年に造られた西気賀駅本屋。待合所は国の登録有形文化財に登録された。駅構内には、地元産の食材を活かしたフランス料理を食わせてくれるレストラン「グリル八雲」がある	古墳時代中期初頭に築造された全長47.5mの前方後円墳。昭和9年の開墾で木棺をおさめた粘土柳が発掘され、銅鏡や管玉等、貴重な品々が出土した。	岩亭は地元の俳人。本名を影山伊太郎といい地元の俳句の普及に功績を残した。	奥浜名と呼ばれる山の中に鎮座しており、景色の良い神社ですが、由緒書き無く詳細は不明。	戦国時代、井伊家の本拠地となる井伊谷城があった。ここから見る引佐の町と奥浜名湖の景色は素晴らしい。

注意事項

- ・利用者が自己または第三者に与えた損害に対し、主催者は一切責任を負いません
- ・交通ルールを守り、立ち入り禁止地域、私有地、耕作地等への立ち入りは禁止
- ・撮影者を除くメンバー全員を入れて写真を撮ってください
- ・朝早くや暗くなってからのご利用は地区のご迷惑となりますのでご注意ください

天竜浜名湖鉄道 上り 時刻表

寸座	↓	10:03	10:56	11:54	12:54	14:00
西気賀	↓	10:07	11:01	11:57	12:58	14:03
気賀	↓	10:11	11:05	12:01	13:02	14:07
岡地	↓	10:13	11:07	12:04	13:04	14:10
金指	↓	10:15	11:10	12:06	13:06	14:12

天竜浜名湖鉄道 下り 時刻表

金指	↓	10:20	11:16	12:16	13:22
岡地	↓	10:23	11:19	12:18	13:25
気賀	↓	10:26	11:22	12:21	13:28
西気賀	↓	10:30	11:26	12:26	13:32
寸座	↓	10:33	11:29	12:29	13:35

天竜浜名湖鉄道 料金表

西気賀	200	気賀	280	岡地	280	金指	360
西気賀		200		280		280	
西気賀			200			200	
岡地							200

料金は後払いです。乗ったら整理券を取ってください。小学生以下は半額です。

ポイントの番号がそのまま得点になります

81 六地藏	120 天浜線寸座駅
裏の竹藪が昔、刑場だったためその霊を慰めるために建てられたと言われている。長閑な間姫街道の旅人の安全を見守ってきた。	小高い山の上に在る小さな無人駅。目の前に浜名湖の素晴らしい景色が広がる。1900年、新上田村長官将軍が東征の折にこの峠で小休をしたそう。寸座(ちやうざ)というところより寸座と呼ぶようになったそう。